



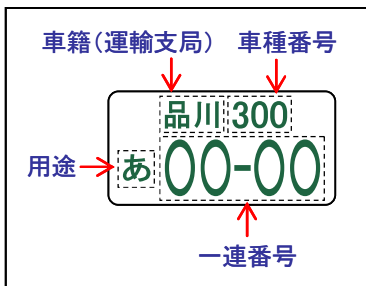
「ERTSを用いた交通特性調査・分析」

観測機器を用いた自動計測により安全で安心な調査を実施し、
走行車両のナンバー画像情報をデータ処理することによって、
走行経路や走行時間の把握など多様な道路特性の分析に貢献

※ERTS（アーツ）はNETIS登録技術（CG-080021-A）です。

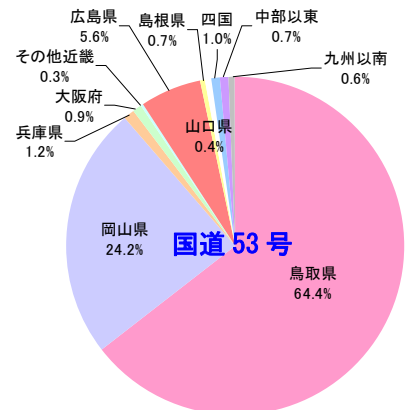
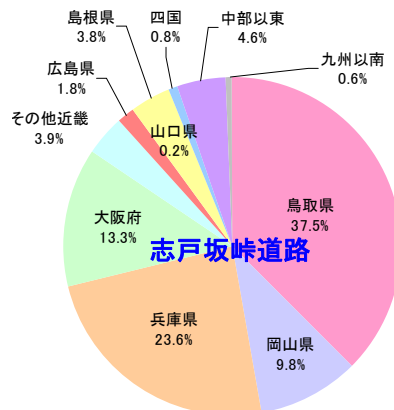
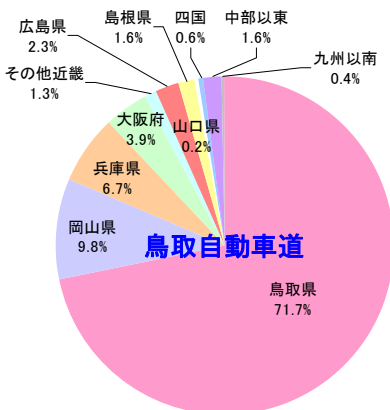
鳥取県

■データ収集状況

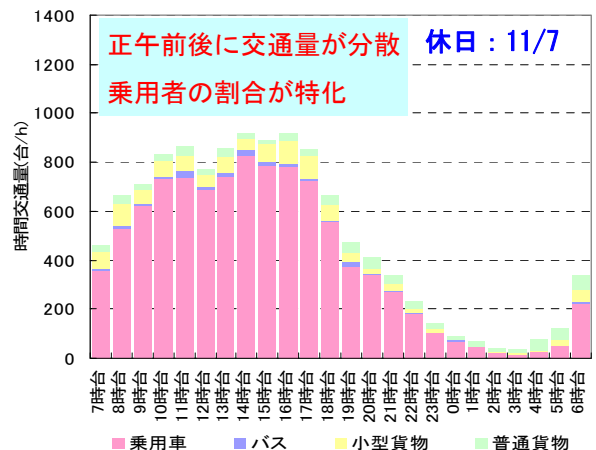
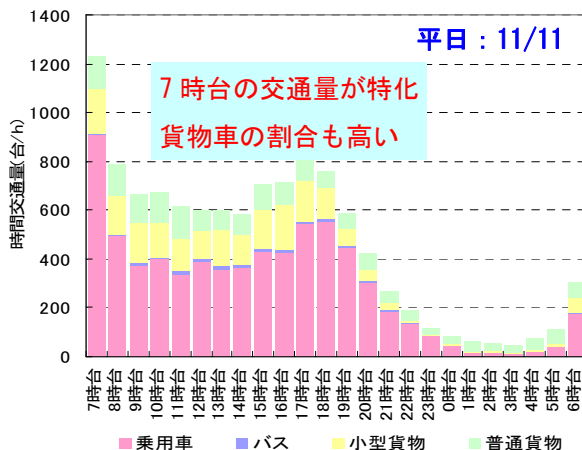


日付	通過時刻	車籍	車種	用途	一連番号	プレート区分	自家用/ 事業用	軽自動車
2010/11/07	00:03:01	鳥取	500	ひ		中	自	他
2010/11/07	00:03:10	鳥取	500	わ		中	自	他
2010/11/07	00:05:01	鳥取	530	せ		中	自	他
2010/11/07	00:05:03	岡山	830	う		中	事	他
2010/11/07	00:08:39	鳥取	580	あ		中	自	軽
2010/11/07	00:16:32	鳥取	200	あ		中	事	他
2010/11/07	00:19:28	鳥取	41	え		中	自	軽
2010/11/07	00:19:40	鳥根	800	か		大	事	他

■調査地点別にみた通過車両の車籍地別割合（平日の11/11 データより）



■鳥取自動車道における時間帯別・車種別交通量の平・休日比較



■業務名

鳥取管内交通実態調査業務

■履行期間

平成 22 年 10 月 2 日
～平成 23 年 2 月 28 日

■発注機関

国土交通省 中国地方整備局
鳥取河川国道事務所

■調査の概要

本調査は、鳥取管内における道路交通実態の把握を目的として行った本業務の中の一調査である。本調査では、車両ナンバー読取装置を用い、鳥取自動車道河原 IC・鳥取 IC 間（無料区間）の供用に伴う交通実態や車両ナンバー情報を活用した多様な効果の把握に向けた基礎データの収集を目的として実施した。

具体的には、鳥取自動車道など

3 地点に車両ナンバー読取装置を設置し、各地点を通過する走行車両のナンバープレートを自動撮影することにより、車両ナンバーの画像を取得する。そして、取得された画像を処理し、通過時刻と車両情報をデータ化するシステムである。

本調査により、いずれの地点においても全走行車両の 95%以上のデータを 7 日以上にわたって連続捕捉することができた。

また、鳥取自動車道（地点①）では、平日平均 10,700 台/日、休日平均 11,200 台/日、志戸坂峠道路（地点②）では、平日平均 3,200 台/日、休日平均 5,100 台/日の交通量が観測され、休日交通量の方が若干多いのに対し、国道 53 号（地点③）では、平日平均 5,800 台/日、休日平均 5,500 台/日の交通量が観測され、平日交通量の方が若干多い結果であった。

定点での交通量はトラカンデータや人手調査によって把握することができる。ただし、鳥取自動車道の開通により、関西方面と鳥取地域との交流が実際に増えているのかといった利用状況までは分からない。

そこで、鳥取自動車道を含む主要地点における走行車両のナンバー情報を把握し、各地点での道路の利用特性を把握することが必要となった。これに対し、当社技術の ERTS（車両ナンバー読取システム）を活用し、車両の車種及び車籍地情報を捕捉することによって、道路利用特性の変化や整備効果を分析するための基礎データを収集することができた。

■社内体制

管理技術者	山本 博章（鳥取支店）
現場代理人	木村 文旺（鳥取支店）
業務担当者	吉岡 伸也（中国支社）

■技術的特徴

■調査位置と調査状況

